

<b>宝塚市協働のまちづくり促進委員会</b> <b>協働の仕組みづくり検討部会(第8回・第2期第2回) 会議録</b>	
開催日時	平成28年8月19日(金) 18:30~20:30
開催場所	宝塚市役所3階 特別会議室
次 第	1 開 会 2 議事録 協働の仕組みづくり検討部会(第7回・第2期第1回)議事録 3 議 事 まちづくり協議会運営のガイドライン(チェックシート)の策定 について 4 その他 5 閉 会
出席委員	久委員長、飯室委員、石谷委員、熊澤委員、古村委員、高松委員、中山委員、足立委員、古泉委員、土屋委員
開催形態	公開(傍聴人1)

### 1 開会

第8回・第2期第2回宝塚市協働のまちづくり促進委員会協働の仕組みづくり検討部会の開会。

事務局から、本日の委員出席者数は10人、欠席者は6人であり、過半数の出席要件を満たしているため、会議が成立していること及び傍聴希望者は1人であることを報告した。

### 2 議事録

協働の仕組みづくり検討部会(第7回・第2期第1回)議事録については、修正等の意見はなかったため、確定稿とすることとなった。

### 3 議事

#### (1) まちづくり協議会運営のガイドライン(チェックシート)の策定について

仕組みづくり検討部会第1期まとめP25、P26「1 こんなまち協だったらいいな」のB、Cについて、意見交換、質疑応答及び久会長からの補足説明等があった。

ア【会長意見】何か意見はあるか。情報提供として、大阪府池田市では、1つのまち協につき、約1000万円の予算を決定できる地域予算制度がある。市の予算の約1%を地域へ配分し、地域の委員会で用途を決定し、自由に使えるというものである。しかし、池田市の課題認識でも挙げられているが、そもそも、地域の委員会の存在を知っている人は、住民の約15%である。約15%の認識の中で1000万円が本当に透明性ある決定ができているのかという問題がある。池田市では、地域の役員にヒア

リングを行うなど、適正に使用されているかどうかチェックを行っている。宝塚市のガイドラインにおいても、透明性を持って議論し、決定できているのかをチェックシートで示していけたらと思うがどうか。その一方で、名古屋市では、地域予算制度を廃止した。当初は、ワークショップを行い、地域住民が皆で課題を出し合い、予算執行をしていたが、年々、ワークショップの参加人数が減少し、役員がやりたい事業をやるようになっていき、本当に透明性が確保されているかという問題があり、一度やめて見直そうということになったからである。

また、三田市では、平成27年度に高平地区でまちづくり協議会が立ち上がった。そこでは、移住してきた人々がまち協の担い手になっている。まち協ができたことで、これまで自治会の古くから住んでいる人だけが参加する限定的だったまちづくりが、移住してきた人も参加できるようになった。

イ Bに「何を誰がどのように決めているんだろう？」とある。まち協の中には、会則があるが、運営については誰が決めているのかわからない、という所はあると思う。まち協の運営は、会則に沿ってやっていこうという意識がなければできないとも思う。そして、実態として、役員によってやり方が違う、役員次第で運営が変わっていることがあるのではないか。チェックシートだけでなく、チェックシステムがあればよいと思う。

ウ Bの中に、活動について「わかりやすくなっていたらいいな」というフレーズがある。実際にまち協の当事者であってもわからない部分がある。積極的に広報を行うことで活動内容を周知することができるので、広報の提案をガイドラインの中に入れてもらえたらと思う。

エ【会長意見】運営がおかしいと思っても言えない状況が問題である。

オ まち協を身近に感じられる住民が増えたら、雰囲気は変わるのではないか。

カ【会長意見】「一部の人たちで決めれば効率的だ」、「違う意見を排除した方が効率的だ」という考えになりがちであるが、そうではなく、「いろんな人の声を反映できていますか？」という内容がチェックシートの中に入るとよいのではと思う。

キ Cの中にある「参加」とは、「決定」、「運営」、「活動」の中でどの範囲を言っているのか。

ク すべてだと思う。

ケ B、Cの背景には、まち協が何をしているのかわからない、ということがあると思う。そのため、広報の内容を考えないといけない。内容は、事業結果や報告ではなく、これから何をするのかといった予定を載せる必要がある。また、コミュニティに必要なものであれば、市の行事をはじめ、どんなものでも載せていくことが必要であると思う。したがって、ガイドラインには、「広報に〇〇を盛り込んでいますか？」といった項目が必要ではないか。

コ【会長意見】いろんな意見が出たが、どのようにガイドラインをまとめていったら良いか。事務局である程度作成をするか、作業班を編成するという方法をとるか、どうするか。

カ 作業班を編成し、作業するのが良いと思う。

部会メンバーの総意により、ガイドライン策定のための作業班を編成することになった。

改めて、事務局より、班員の募集案内及び日程調整を行うことになった。

#### 4 その他

ア 平成28年8月24日（水）実施予定の宝塚市協働の指針職員研修会のお知らせ、及び平成28年8月19日（金）に実施された協働のまちづくりプロジェクトチーム会議の開催結果について、報告を行った。

#### 5 閉会